

# 外国語教育推進リーダーの 校内研修支援に関する実践的研究 ープロセスモデルの作成と活用を通してー

学籍番号 179956  
氏名 新家 秀雄  
主指導教員 木原 俊行

## 1. 小学校における外国語教育の変遷

本章では、小学校外国語教育の変遷について論じる。第1節では、1986年からの小学校外国語教育の流れについて述べ、今日、その教科化・低学年化に向け、小学校教員が外国語の指導にかかわる必要性が高まっていることにふれる。第2節では、2017年に告示された新学習指導要領で小学校外国語教育の目標の支柱が「コミュニケーションを図る資質・能力の育成」に求められるようになったこと等を述べる。第3節では、2011年度から導入された外国語活動の成果と課題を明らかにする。そして、小学校外国語教育の変遷から、学校全体として教師の力量形成のための学びの場がいつそう重要となったことを確認する。

## 2. I市における外国語活動の取組みと本研究の目的・計画

第2章では、I市における外国語教育の取組みと本研究の目的・計画について論じる。第1節では、2003年度から始まったI市の外国語教育の成果と課題を同市の教育センターの研究員の取組みから確認する。また、5校87名の教師を対象として実施したアンケート調査の結果分析をもとに検討する。第2節では、外国語教育推進リーダーに焦点を当てながら、その役割と筆者のこれまでの取組みを示す。第3節では、本研究の目的を「外国語教育推進リーダーによる校内研修の支援」に関する実践の創出に求め、そのための計画を提示している。

## 3. 校内研修を支援するプロセスモデル

第3章では、校内研修を支援するためのプロセスモデルについて論じる。まず第1節では、当該モデルの基本的な考え方を整理して示す。次いで、プロセスモデルを示しながら、

その概要や作成の過程について述べる。そして、第2節から第6節では「関係づくりと基本情報の収集」「詳細な情報の収集とアセスメント」「研修内容・方法・優先順位の検討と決定」「校内研修の作成・実施」「校内研修の評価とフォローアップ」という5つの校内研修支援のステップについて、順に、その内容や特徴を詳述する。

## 4. プロセスモデルを活用した ワークショップ型校内研修の支援

第4章では、A小学校におけるワークショップ型校内研修の支援について述べる。第1節ではA小学校における外国語教育に関する状況を示し、第2節では研修準備のために研修担当者と協議した内容を記述する。また、授業見学やチェックリストを活用したアセスメント結果についても言及する。第3節では研修の検討、作成、実施、フォローアップについて詳述する。第4節では、支援の成果と課題について振り返る。

## 5. プロセスモデルを活用した授業研究会型校内研修の支援

第5章では、B小学校における授業研究会型校内研修の支援について述べる。第1節では、B小学校の外国語教育の状況について示す。第2節では、A小学校と同様に研修担当者と協力しながら校内研修の準備を行った様子を記述する。第3節では、授業者、研修担当者、筆者が役割を明確にして授業研究会に向けて準備し、それを実施した様子を詳述する。第4節では当該研修の支援を振り返る。

## 6. プロセスモデルを活用した校内研修の総合的支援

第6章では、C小学校における校内研修の総合的支援について述べる。第1節では、C小学校の研究主題や外国語教育の取組みの様子を示す。第2節では、プロセスモデルに即した支援のうち、ステップ1・2の実際を記述する。第3節では、校内研修の全体計画に即して行った3つの校内研修の支援の実際を、第4節では、授業研究会の1つを取り上げ、それに関わる支援を詳述する。第5節では、総合的支援の成果と課題について振り返る。

## 7. プロセスモデルの活用の可能性

第7章では、プロセスモデルの活用可能性について考察する。第1節では、3つの小学校における校内研修支援を振り返り、多くの場面で支援できたことを確認する。第2節では、外国語教育推進リーダー2名から得たプロセスモデルにかかわる評価をまとめる。第3節では、プロセスモデルの他教科の校内研修の支援における活用可能性等を論じる。